

意外な 当社製品を紹介します

本企画では、「この会社、こんなものも作っていたんだ！」
主力製品とは異なる分野、用途で活躍する意外な製品を紹介します。

豊國工業 株式会社

所在地：三重県伊賀市小田町1450-1

創業：1953年

資本金：9,000万円 従業員数：218名

主力製品：スチールオフィス家具全般、建材

機能的かつ快適なオフィス家具を提供しています



創業以来、薄板金属加工（プレス・溶接・塗装）
技術を活かし、保管庫・ロッカーなどのスチール家具を製造している同社。ロッカーであれば、1日1,000台生産できる国内トップクラスの生産ラインを有しており、受注から商品開発・設計、生産（板金・溶接・塗装・組立）、出荷までを一貫して対応可能なのが強みです。



近年では、オフィス家具製造で培った金属加工
や塗装、転写の技術をさらに追究し、建材や家電製品の部材供給なども行っています。

さらに今年は、オフィス家具に関連して、新型
コロナウイルス対策のための飛沫対策製品（パーテーション）を開発。軽量かつ丈夫で、移動設置や用途に合わせた増連が容易にできるため、コロナ対策製品として注目を集めています。

BEER SMOOTHER II (ビアスムーザー2)



当社の意外な製品が『BEER SMOOTHER II』です。同商品をお使いいただくことで、ビアホールで飲むようなきめ細かい泡立ちのビールを、家庭でも手軽に楽しんでいただけます。信楽焼の陶器をパイプ状にしたものと樹脂キャップを組み合わせた商品で、缶ビールに着脱して使用します。

注ぎ口に使われている信楽焼は細かな石粒などを多く含み、素地が荒いのが特徴です。ビールの炭酸が陶器表面の粗い素地にぶつかることで細かい泡立ちが発生します。

同商品は国産ビールメーカーの缶ビール(350ml、500ml)すべてに取り付けが可能です。NHKをはじめ、民放各社や新聞・雑誌などのマスコミでも取り上げられ、現在は東急ハンズやロフトなど、全国の雑貨店、ホームセンターで販売されています。



ビアスムーザーを手がけようと考えられた背景を教えてください。

当社では、薄板スチールをメインに使ったオフィス家具ばかりではなく、異業種への展開を模索・検討していました。商品開発がスタートしたのは、異業種交流会への参加や協力会社との繋がりからです。当時、京都の陶器販売会社に勤務した経験のある社員から「滋賀県の窯業研究所がビールの泡を出しやすくする技術の特許化し、県内の窯業会社であれば、無償でその特許が利用できる」という情報を得ました。早速、滋賀県の窯業会社に相談し、商品化が始まりました。缶ビールへの取り付け方法や、信楽焼の特徴である材質をいかに再現するかなど、試行錯誤を重ね、はじめて自社ブランドを付けた商品として『BEER SMOOTHER II』を開発しました。



代表取締役社長
井上 明彦 氏